



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ウチヤマホールディングス

代表者名 代表取締役社長 内山文治

(コード番号：6059、東証第一部)

問合せ先 専務取締役経営企画室長 山本武博

(TEL. 093-551-0002)

特別損失の計上および平成29年3月期業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期決算において、下記の特別損失を計上するとともに、平成 28 年 5 月 10 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

当社は、平成29年3月期において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、カラオケ事業及び飲食事業、不動産事業における固定資産の将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減損処理することとし、減損損失896百万円を計上いたしました。そのほか固定資産除却損などを計上した結果、当期の特別損失は917百万円となりました。

2. 平成 29 年 3 月期通期業績予想数値と実績値の差異（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結業績

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,618	898	907	614	30.77
今回の実績値 (B)	25,318	777	1,008	59	3.10
増減額 (B - A)	△300	△120	100	△554	
増減率 (%)	△1.2	△13.4	11.1	△90.2	
(参考) 前期実績 (平成28年3月期)	23,897	128	324	983	46.11

(2) 個別業績

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	693	209	205	10.30
今回の実績値 (B)	881	425	418	21.61
増減額 (B - A)	188	215	212	
増減率 (%)	27.2	102.8	103.4	
(参考) 前期実績 (平成28年3月期)	676	224	221	10.37

3. 差異が生じた理由

(1) 連結業績

売上高におきましては、主力事業である介護事業が順調に入居率を向上させた一方で、カラオケ事業及び飲食事業において、個人消費低迷が想定以上に長引いたことや4月に発生した熊本地震の影響を受けたことなどから、集客数が見込みに達しなかったことにより前回予想を下回る結果となりました。

また、利益面におきましては営業利益では、カラオケ事業及び飲食事業の売上高が前回予想を下回ったことに伴い減少することとなりました。経常利益では、主に介護事業の新規施設開設に伴う補助金や受取手数料などを営業外収益で計上したことから、前回予想を上回ることとなりました。

また、一部カラオケ店舗、居酒屋店舗等における減損損失 896 百万円を特別損失として計上したことなどにより特別損失は 917 百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は計画を下回ることとなりました。

これらの結果、売上高 25,318 百万円 (前回予想比 1.2%減)、営業利益 777 百万円 (同 13.4%減)、経常利益 1,008 百万円 (同 11.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 59 百万円 (同 90.2%減) となりました。

(2) 個別業績

当初発表していた業績予想におきましては、子会社からの配当受領を保守的に見積もっておりましたが、将来の株主還元策等を勘案し、配当原資の獲得を行う目的から配当受領金額を増額することと致しました。

なお、当社は事業持株会社であるため子会社から受領した配当金については、売上高に計上することとなるため、売上高、経常利益、当期純利益のいずれも増加しております。

この結果、売上高 881 百万円 (前回予想比 27.2%増)、経常利益 425 百万円 (同 102.8%増)、当期純利益 418 百万円 (同 103.4%増) となりました。

以 上